

緑2 独立防災隊ニュース 回覧

第63号 平成30年2月19日発行

発行人 隊長：堀口 眞 編集人 広報部長：福澤 祥二

第11回 定例会の開催 2月11日(日) 19:00～ 自治会館

- ・29年度活動報告書、30年度事業計画、役員人事、規約改正の(案)が提示され了承された。
- ・第22回「震災対策技術展」横浜、2月8日(木)～9日(金) パシフィコ横浜 Dホール
⇒ 緑2・防災隊からは堀口隊長と斎藤防災部長の2名が参加しました。
- ・光が丘地区独立防災隊合同訓練 3月11日(日) 9:30～12:00 下溝防災消防訓練所

公益社団法人 相模原市防災協会主催 防災講演会

1月18日(木) 14:30～16:00 杜のホールはしもと
後援に相模原市消防局、講師には神奈川県温泉地学研究所所長・静岡大学名誉教授 里村 幹夫氏を迎え「相模原市で起こりうる地震とその対策」と題して講演が行われました。地震発生のメカニズムをプレートの模式図を用いて海溝型と内陸直下型の違いを解説、相模原市では、今後30年間に70%の確率で発生する首都直下型地震(マグニチュード7クラス)を特に警戒する必要があるとのことでした。また、阪神・淡路大震災及び熊本地震は直下型の地震で、多くの人々が近隣住民によって救助されており、あらためて自助、共助が重要であると力説されていました。



なお、緑2・防災隊からは堀口隊長と福澤広報部長の2名が聴講しました。

防災講演会のチラシ

「光が丘マイスターの会」研修会(第2回)の開催 2月17日(土)

14:00～16:00 光が丘ふれあいセンター 2階 大会議室
本年度、第2回目の研修会は緑2・防災隊のマイスター4名を含み、17名が出席して開催され、安否確認の訓練結果(並木3 中禮講師)、震度7生存確率 仲西宏之氏 抜粋編(西大沼 島講師)、最新防災講座(虹ヶ丘 門倉講師)、子供向けプレゼン用 総務省消防局作成 低学年用・高学年用



西大沼 島講師による講座の様子



緑2 堀口講師による講座の様子

及び かながわ人と智をつなぐ防災・減災ネットワークの紹介代表 神奈川大学 荏本孝久教授(緑2 堀口講師)、土砂災害への対応(朝日が丘 南講師)、光が丘自助キャンペーンについて(熊谷講師)のプレゼンがあり、情報の共有化を図りました。

～復旧するまでの数日間を支える物～

3日以上を目安に備え、賞味期限や消費期限を定期的に点検しましょう。

食料	米、缶詰、レトルト食品、インスタント食品、飲料水(1人1日3ℓを目安に) など
照明・情報	懐中電灯(1人1個)、ラジオ、予備の乾電池 など
加熱器具	卓上コンロ、予備のガスボンベ、固形燃料 など
日用品	マッチ、ライター、新聞紙、ロープ、ひも、粘着テープ、ペンチ、スコップ、ティッシュペーパー、ビニール袋、生理用品、筆記用具、携帯トイレキット など
乳幼児のいる家庭	粉ミルク、紙おむつ、おしりふき など

ローリングストックを 実践しよう

日常生活で使用する水や食料を多めに備蓄しておき、消費したら補充するという「ローリング(回転させながら)ストック(蓄える)」が有効です。
非常時にも普段食べ慣れている物を食べることができるため、安心できます。